

技術者の感性を忘れずに



基礎地盤コンサルタンツ㈱
東北支社長 齋藤 芳徳

昭和62年、12年間勤務した福岡から仙台に赴任して早いもので10年目に入りました。在仙の業界の支社長、支店長の中では最も長い部類になり、すっかり東北に根が生えてしまいました。仙台は、学生時代の4年間、入社後の昭和40年代に7年間住んでいた関係上、言わば第2の故郷のようなもので、現在ではこの美しい「杜の都」に深い愛着を感じています。当然東北協会との係りも長くなり、現在は総務委員長の立場で、東北の同じ業界の経営者の皆さん、諸先輩から直接色々な意見や話を聞くことができ、大変感謝しております。

東北は、実際の土質工学を身を持って体験できた貴重な時期を過ごし、この面で

も感謝すべき場となっています。昭和40年代の東北地方は、軟弱地盤処理工法が脚光を浴び始めた時期でもあり、各種の試験盛土の解析業務や動態観測に携わり、土質力学の理論と実際の土の挙動の相違を経験することができました。今でも未だ長期沈下が続いている場所もあり、今更ながらこの問題の息の長さを感じ入っています。また九州時代も、著明なローカルソイルを扱った問題が多く、有明粘土、しらす等を対象として多くの委員会や学会の研究活動に参画させて頂き、地盤工学の知見と人脈を拡げることができました。現在は、立場上マネージメント的な仕事が多くなり、技術の問題に直接タッチする機会は少なくなりましたが、これまで学んできた一技術者としての真摯な態度を忘れずに、色々な物事に対処していきたいと考えています。

東北支社も、昭和43年に仙台出張所として開設されてから30年目を迎えようとしています。この間、様々な社会情勢、経済環境の変化の波に揉まれながら、当初の数人規模の事業所から、現在では80人近い社員を抱える組織になりました。私は、支社の30年の歴史の後半10年を担当する形になり

ましたが、社会のトレンドは更に大きく変革することが予想されます。当社の理念としている社員の個性を尊重した自由な社風を尊重し、若い人材の感性、発想を大切にしたい強い柔軟な組織に育て、21世紀に向けて次の世代にバトンタッチしたいと考えています。併せて、東北協会、業界全体の健全な発展を心から期待し願っております。

プロフィール

出身地；山形県鶴岡市

昭和17年11月16日生（53才）

略 歴；昭和40年 3月

東北大学工学部建築工学科卒

昭和40年 4月

基礎地盤コンサルタンツ㈱入社

昭和62年 4月

同 東北支社勤務 現在に至る

昭和63年 4月

東北地質調査業協会 理事

平成 8年10月

同 副理事長

趣 味；ゴルフ（下手だが病気に近い）、

ジャズ鑑賞

家 族；妻と猫2匹（アメショウ）、子

供2人（男）は独立

